

協議第 25 号

水道関係事業について

水道関係事業について承認を求める。

平成 20 年 12 月 1 日 提出

熊本市・城南町合併協議会会長 幸 山 政 史

水道関係事業について

- 1 城南町の地区営水道（簡易水道）については、町営化を目指し平成 22 年 3 月までに認可が取得できるよう努める。その事業は新市が引き継ぎ継続して取り組む。
- 2 城南町中央地区簡易水道事業（町営簡易水道事業）については、平成 25 年度を完了予定とし熊本市に引き継ぐ。
水道料金及び加入金は、合併時に熊本市の料金体系に統一する。
- 3 未普及地域を含む上水道事業については、調査を実施し、その後 10 年程度の計画を策定し平成 21 年度までに事業認可を得る方向で努める。その事業は新市が引き継ぎ継続して取り組む。
なお、整備にあたっては水質悪化地域の整備を優先的に進めていくこととする。

平成 年 月 日

原案承認 ・ 修正承認 ・ 継続審議

合併協議項目事業一覧 (25 水道関係事業)

事業項目	枝番号	協議項目	部会名	提案	承認/継続	備考
水道関係事業の取扱い						
	1	地区営水道(簡易水道)	水道部会	第2回		
	2	町営簡易水道事業	水道部会	第2回		
	3	上水道事業	水道部会	第2回		

熊本市・城南町合併協議会 事務事業調査票

作業部会名： 水道部会

協議項目	水道関係事業	小項目名	1 地区営水道（簡易水道）
------	--------	------	---------------

協議内容	城南町には 18 の地区営(組合営)簡易水道があり、専用水道を含めた水道普及率は約 30%となっている。地区は、町内に点在しており、また県認可を受けているのは2地区のみであるため、県からは町営化か認可の取得を要求されている。上水道事業の中で順次簡易水道区域を取り入れ、整備していくかについて。
合併協議会協議結果(調整方針)	城南町の地区営水道(簡易水道)については、町営化を目指し平成22年3月までに認可が取得できるよう努める。その事業は新市が引き継ぎ継続して取り組む。

制 度 比 較		
	熊 本 市	城 南 町
市 町 別 内 容	上水道事業 (H19 年度)	地区営簡易水道
	給水人口 655,150 人	吉野 給水人口 113 人 東阿高団地 197 人
	一日平均給水量 221,625 m ³	築地上村 113 " 赤見 438 "
	公称施設能力 290,500 m ³	築地下村 48 " 東阿高フラワー 99 "
	【平成 18 年度決算】	才木 149 " 沈目 325 "
	・収益的収支	中尾 93 " 本鰐瀬 195 "
	(収入)132 億 2 千万円 (支出)109 億 5 千万円	旭ヶ丘 105 " 碓 592 "
	・資本的収支	湯ノ上山下 125 " 高 409 "
	(収入) 20 億 4 千万円 (支出) 69 億 4 千万円	東阿高第一南 99 " 舞原 250 "
	【平成 19 年度決算】	東阿高第二南 269 " 舞原ニュータウン 249 "
・収益的収支	合 計 3,868 人	
(収入)131 億 3 千万円 (支出)108 億 7 千万円	簡易水道組合への補助金	
・資本的収支	交付対象 水道組合が実施する水道施設の新設及び修理等	
(収入) 31 億 7 千万円 (支出) 133 億 3 千万円	※修理費は 50 万円以上	
※平成 19 年度の資本的収支が増加した理由は、企業債の繰上償還(約 43 億円)及び低金利への借換え(約 18 億円)によるもの。	補助金の額 水道組合が実施する水道施設整備事業当該事業費の 10 分の 6 以内	
※簡易水道組合への補助金及び飲用井戸水質検査委託料は行っていない。	飲用井戸水質検査委託料	
	支払対象 家庭用井戸水を使用している者(10 項目の検査料の内、1,000 円を水質検査機関へ)	
	委託料 1 件当たり 1,000 円	
相違点と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・城南町の水道は、上水道事業はなく、19 地区の簡易水道事業からなり、内訳は 1 地区が町営で、その他の 18 地区は地区営(組合営)である。 ・水道普及率も熊本市の 98.07%(H19)に比べ、城南町は、約 30%と低い。 ・県から町営として統合するか、または個別に認可申請するかの選択を迫られており、一方で、複数の簡易水道を統合する計画を策定のうえ、平成 21 年度までに、提出したものに限り、現行の国庫補助事業の対象となることから、町としての方向性を早急に決定し、取り組む必要がある。 ・簡易水道組合(地区営)の補助金に関しては健康福祉部会で検討。 	

熊本市・城南町合併協議会 事務事業調査票

作業部会名： 水道部会

協議項目	水道関係事業	小項目名	2 町営簡易水道事業
協議内容	①城南町中央地区簡易水道事業を平成 25 年度まで国庫補助を受けて施行することについて。 ②簡易水道事業と上水道事業の水道料金統一の時期について。		
合併協議会協議結果(調整方針)	城南町中央地区簡易水道事業（町営簡易水道事業）については、平成 25 年度を完了予定とし熊本市に引き継ぐ。 水道料金及び加入金は、合併時に熊本市の料金体系に統一する。		

制 度 比 較		
	熊 本 市	城 南 町
市 町 別 内 容	上水道事業 (H19 年度) 給水人口 655,150 人 一日平均給水量 221,625 m ³ 公称施設能力 290,500 m ³ 【平成 18 年度決算】 ・収益的収支 (収入)132 億 2 千万円 (支出)109 億 5 千万円 ・資本的収支 (収入) 20 億 4 千万円 (支出) 69 億 4 千万円 【平成 19 年度決算】 ・収益的収支 (収入)131 億 3 千万円 (支出)108 億 7 千万円 ・資本的収支 (収入) 31 億 7 千万円 (支出) 133 億 3 千万円 ※平成 19 年度の資本的収支が増加した理由は、企業債の繰上償還(約 43 億円)及び低金利への借換え(約 18 億円)によるもの。 一般的な家庭の水道料金(税込) 口径 13mm、1ヶ月に 29 m ³ (241ℓ/人・日の 4 人家族を想定)使用時の料金・・・4,032 円	簡易水道事業 平成 19 年度から平成 25 年度まで中央地区簡易水道計画給水人口 4,926 人 事業費約 20 億円 平成 19 年度決算 19,338 千円 平成 20 年度予算 429,047 千円 一般的な家庭の水道料金(税込) 口径 13mm、1ヶ月に 29 m ³ (241ℓ/人・日の 4 人家族を想定)使用時の料金・・・5,800 円 (城南町の町営簡易水道の最小口径は 13mmである。)
相 違 点 と 課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・城南町の水道は、上水道事業はなく、19 地区の簡易水道事業からなり、内訳は 1 地区が町営で、その他の 18 地区は地区営(組合営)である。 ・水道普及率も熊本市の 98.07%(H19)に比べ、城南町は、約 30%と低い。 ・18 の地区営簡易水道事業をどのようにしていくのか。 ・また今後、上水道整備をどのようにしていくのか。 	

熊本市・城南町合併協議会 事務事業調査票

作業部会名： 水道部会

協議項目	水道関係事業	小項目名	3 上水道事業
------	--------	------	---------

協議内容	城南町中央地区簡易水道事業以外の未普及地域を上水道事業で整備することについて。
合併協議会協議結果(調整方針)	未普及地域を含む上水道事業については、調査を実施し、その後 10 年程度の計画を策定し平成 21 年度までに事業認可を得る方向で努める。その事業は新市が引き継ぎ継続して取り組む。 なお、整備にあたっては水質悪化地域の整備を優先的に進めていくこととする。

制 度 比 較

	熊 本 市	城 南 町
市 町 別 内 容	<p>上水道事業 (H19 年度)</p> <p>給水人口 655,150 人</p> <p>一日平均給水量 221,625 m³</p> <p>公称施設能力 290,500 m³</p> <p>【平成 18 年度決算】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収益的収支 (収入)132 億 2 千万円 (支出)109 億 5 千万円 ・資本的収支 (収入) 20 億 4 千万円 (支出) 69 億 4 千万円 <p>【平成 19 年度決算】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収益的収支 (収入)131 億 3 千万円 (支出)108 億 7 千万円 ・資本的収支 (収入) 31 億 7 千万円 (支出) 133 億 3 千万円 <p>※平成 19 年度の資本的収支が増加した理由は、企業債の繰上償還(約 43 億円)及び低金利への借換え(約 18 億円)によるもの。</p>	<p>上水道事業(H19 年度)</p> <p style="text-align: center;">該当なし</p>
相 違 点 と 課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・城南町の水道は、上水道事業はなく、19 地区の簡易水道事業からなり、内訳は 1 地区が町営で、その他の 18 地区は地区営(組合営)である。 ・水道普及率も熊本市の 98.07%(H19)に比べ、城南町は、約 30%と低い。 ・今後、上水道整備をどのようにしていくのか。 	